

甲 賀 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時		令和8年6月10日（月）午後3時～午後5時05分
開催場所		甲賀警察署4階大会議室
出席者	委員	武藤敬助委員(会長)、林初広委員(副会長)、上森秀夫委員、木村準子委員、脇阪昇委員、吉田昌孝委員、市井妙子委員、神山由美子委員、田中重哉委員
	警察	吉川署長、中村副署長、富田調査官(警務課長)、大谷調査官(会計課長)、立岡留置管理課長、林地域課長、吉村刑事課長、大道生活安全課長、宮崎交通課長、荻野警備課長
議事概要		1 署長挨拶 署長から「令和8年度第一回の警察署協議会となる。甲賀警察署が抱えている課題に焦点を当て、猛威を振るっている特殊詐欺の現状と対策について担当者が説明するので、委員の皆様から多くのご意見、ご要望をいただきたい。」旨の挨拶がなされた。 2 警察署協議会の概要説明 警察より、警察署協議会の概要、委員の身分等について、資料に基づき説明がなされた。 3 会長・副会長の選任 委員の互選により、会長として武藤委員が選出された。 武藤会長より、副会長として林委員が指名された。 4 会長挨拶 会長から「昨年に引き続き会長として尽力して参りたい。協議会活動は自分の学びにもなった。住民目線で活発な意見交換を行い、甲賀警察署の運営に有意義なものとなるよう、委員一同取り組んで参りたい。」旨の挨拶がなされた。 5 副会長挨拶 副会長から「会長と委員のみなさまのパイプ役として務めて参りたい。」旨の挨拶がなされた。 6 議題 (1) 管内の特殊詐欺の発生状況と対策について 警察から、管内で多額の被害が発生している特殊詐欺の現状と対策等について、パワーポイントを使用して説明がなされた。 委員から身近な詐欺未遂経験について紹介がなされ、続いて警察が推奨する詐欺対策アプリについて教えてほしいとの意見がなされた。さらに、委員から「甲賀・湖南市民の被害が多い理由の一つとして、警察をはじめ官公庁に対する信頼度が高いことがあると考えている。良いことではあるが、一方で詐欺被害を防ぐには、

あらゆるものを一旦は疑ってかかる「ゼロトラスト」の考え方も必要。官公庁や信頼できる会社等からの電話やメールであっても、一旦は電話を切って正規の電話番号を確認し、かけ直すことで被害を防ぐことが出来る。」旨の提言を受けた。警察から「現在、警察として推奨している詐欺対策アプリは、被害防止の非常に有効な手段となる。電話の相手が公的機関や企業を名乗っていても詐欺電話の可能性が高いことがわかるので、アプリのダウンロードを推進し被害防止に努めていきたい。」との説明がなされた。また、委員から「親族に警察官を騙る詐欺電話があった。警察署の電話番号が表示されていたそうであるが、電話に出てしまった時の有効な対応方法を教えてもらいたいし、市民にも周知してもらえればどうか。」旨の提言がなされた。

(2) 特殊詐欺事件の検挙事例について

警察から、昨年甲賀市内で発生した特殊詐欺事件の検挙概要や詳細な手口等の説明がなされた。

委員から「個人情報の流出を防止する手段」や「市民にわかりやすく、有効な対策」について質問がなされ、警察から「個人情報は出回っていることを前提に不審な電話やメールには出ない、応じてしまったとしてもお金を支払う前に周囲に相談をしてほしい。」旨の説明がなされた。

また、警察から「詐欺集団は巧妙に組織化されている。詐欺防止方法を市民に周知し、市民を詐欺被害から守る対策を推進していく。」旨の説明がなされた。

7 総括

会長から「現状では検挙や対策が難しい中、アプリが有効な手段であることは良くわかった。甲賀署では本協議会の意見を対策に生かしていただきたい。また委員におかれても周囲への啓発に努めていただきたい。」旨の総括がなされた。

8 次回協議会の日程

9月中旬～下旬に開催予定